

保仔

道路の改良

第四輯



道路改良會設立趣意書

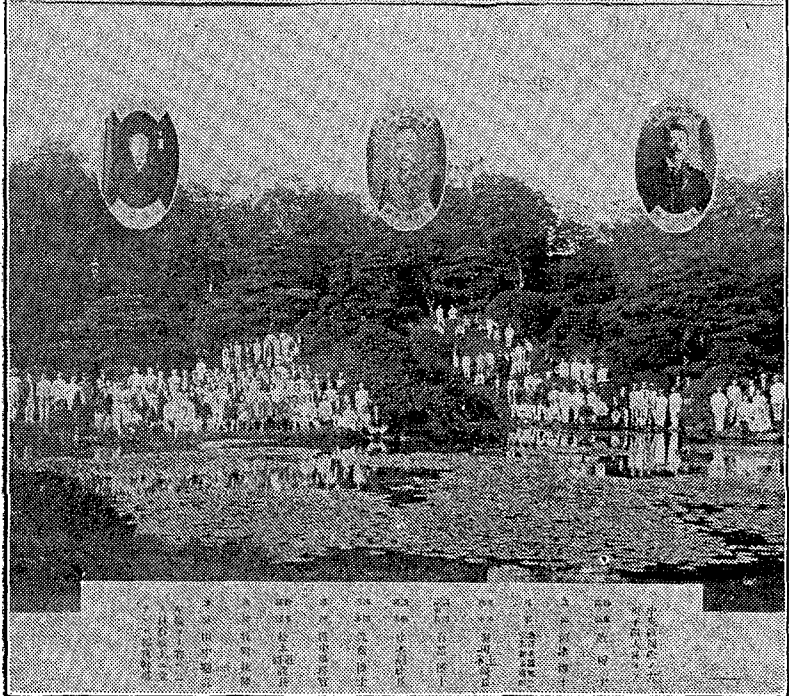
邦家の隆運を昌にし公衆の福祉を進むるの途固より一ならずと雖も交通機關を完備する如き蓋し其の最も緊要なるものたるへし交通機關能く整備して各地の聯絡疎通爲に全きを得むか農村の開発振興始めて著しきを加へ都市の股眼繁榮愈大なるを致し物價の如きも各地を通して能く平準を保つことを得るに至るへく獨り平時に於て國運の進展に資する所極めて多きのみならず一旦有事の秋に際會せば國防上に至大の利便を供與す可きや固より疑を容れず。

顧ふに明治の維新に方り開國進取の國は一たび定まりたる以來海に陸に銳意して交通機關の設備に勉め成績の見るへきもの尠からず然るに其の最も普遍的な交通機關たる道路の施設に至りては他の交通機關何れも著しく發達したるに比して今尙遜色あるを免れず之を東京、横濱、大阪、神戸等の大都市の現狀に徴するも單に道路網の統一整備を缺くのみならず路幅亦狹隘にして其の缺點殆と擧げて數ふ可からず加ふるに雨雪一たび到れば忽にして泥濘の巷と化し歩行車行其の他交通上の困難名狀すへからざるものあり大都市の道路にして既に然り地方の道路に至りては其の不備更に甚しきものあり全國交通の幹線なる國道にして尙且渡船、賃錢橋に依り辛うして其の聯絡を取れるもの六十餘箇所多きを算するのみならず路幅僅かに六七尺に過ぎざるの隘路あり勾配五分の一を超ゆるの急坂あり爲に人馬諸車の往來に支障を來すこと少からず此の如くむは産業の開發得て望むへからざるは勿論世界に卓越すと稱せらるる我邦天然の美景を内外に紹介すること亦至難なるへく曩に制定せられたる軍用自動車保護法に依る交通要具の普及獎勵策の如き固より其の効果を收むるに由なかるへし。我邦道路の不備今猶昨の如し是れ或は國土の地形自ら道路の開設に困難ならしめたるか爲なると封建諸侯が故らに交通の便を避け割據の風を成したる餘弊を承けたるものとあるとに因るへしと雖も鐵道の開通を見るに及びて一時道路の必要閉却せられたるもの亦確に其の一因たらすんばあらず然れども鐵道と道路とは各其の職能を異にするのみならず、鐵道の普及には自ら其の限度あり兩者相倚り相俟ちて相互に交通機關の效用を完うせしめざるへからず殊に近時道路を利用する快速力運輸機關の發達普及せむとするに當り交通上に於ける道路の價値愈顯著なるを致せり之が改善の一日を曠うすへからざるや復言を俟たざるへし。近くは政府に於ても第四十一年帝國議會に際し多年の懸案たりし道路法案を提出し又國道の改修計畫を定め更に府縣道以下の道路改良を遂行して時運の要求に副はしむことを期せるか如し然れども世界の大戰新に戦まり列國平和の競争愈激烈を加へむとするの今日此の交通の主要機關たる道路の改良に關して單に政府の爲す所のみ依頼して已むへけむや是れ予等同志胥謀り茲に全國の有志を糾合して道路改良會を設け汎く道路改良に關する方策を講究して速に其の實を擧げ以て時勢の進運に資せむとする所以なり翼くは有志諸家の奮つて本會の趣旨を翼賛せられ其の目的を達成するか爲に一臂の力を致されむことを。

道路の改良第四輯目次

| | | |
|-------------------|------------------|----|
| 道路費と國民の負擔…………… | 工學博士 近藤虎五郎…………… | 一 |
| 第四回萬國道路會議の開催…………… | 工學博士 牧 彦…………… | 五 |
| 海外通信…………… | 幹 事 佐上信一…………… | 二四 |
| 山陽道路改良の宣傳…………… | 囑 託 田 中 好…………… | 三〇 |
| 長 府 所 感…………… | 幹 事 都 筑 通 督…………… | 三八 |
| 山陽道踏査と道路改良宣傳…………… | | 四三 |
| 道路職員講習會記事…………… | | 五二 |
| 地方宣傳と講師派遣…………… | | 六六 |
| 附 評議員會記事…………… | | 六八 |

道路講習會會員謝恩會遊記念



副會長石黒博士訓旨要領

私は道路改良會々々長法學博士木野
 鍊太郎君に代りまして本日諸君に
 終了證書を御渡しすることを光榮
 と致します、各位は上官若しくは
 上職の命に依り道路職員講習會に
 御出席に相成りましたとは申しな
 がら長い間殊に時候の宜くない折
 柄御苦勞に存じます、之より御歸
 任の上は今回御習得になつた所を
 充分に發揮されん事を切望致しま
 す恐多い事ながら先般我皇太子殿
 下には御外遊の途次新嘉坡に御着
 の折供奉の方々には日本の道路は早
 く改良しなければならぬ、英本國
 を遠く離れたる此新嘉坡の田舎の
 道でも東京の道には優つて居ると
 仰せられたと三月二十一日の通信
 で承りました、私共道路改良會員
 は此御言葉を傳承致しまして誠に
 慚愧に堪へない次第であります我
 國に來朝せられる外賓の方々には
 ありまして、日本は五大國中
 今や優位を占むるに至りたる事
 せ交通文明の遅々たる事宛然申
 歩の感が致します即ち各位の奮勵
 を切望する次第であります